追加募集
決定

2019 年度　THIRD プログラム
～アジア太平洋(タイ)で生活し働く～
募集要項

[追加] 募集期間	派遣先大学・団体	派遣期間
2019/5/10(金) ~ 2019/5/17(金)16:30	Mahidol Univeristy, World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs (WAOJE) Bangkok	2019/9/29(日) ~ 2019/11/ 22(金) 2019 年度秋セメスター 第 1 クオーター

立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第 2 版
（2019 年 5 月 10 日）

プログラム概要

【THIRD(THeme-based Intercultural Relation expeDition)】とは？

【プログラム概要】

このプログラムは、FIRST や SECOND で培われた経験学習による異文化学習を基本とし、さらに一段難度が高いレベルの達成を目指します。海外での授業受講と現地活動を 2 ヶ月程度行うことによってグローバルソフトスキルの向上、大学での学びの深化、大学卒業後のキャリア形成を狙います。タイトルにあるように、expedition(探検・遠征)に挑戦する高い意欲と熱意がある学生を求めます。プログラム終了後、交換留学であったり、長期のインターンシップ等世界への扉を開け続けられる知識・スキル・態度が形成されることが期待されます。

事前授業	・ **派遣前準備**: 目標設定、ビザ申請、危機管理、フィールド・リサーチ/インターンシップについて等
現地実習	・ **現地大学への短期留学験**:「タイの社会と文化」、「東南アジアとタイ」の受講 ・ **フィールド・リサーチ**: タイでの聞き取りによる実地調査 ・ **就業体験**:人材紹介業、留学支援業、マーケティング業、外食サービス業、法務関連等 (言語学習) ・ **英語学習**: 実践英語(4 コマ:予定) ・ **タイ語学習**: サバイバルタイ語(9 コマ:予定) *言語学習は、プログラムの単位には含まれません。プログラム担当教員の選考の結果、免除となる場合もあります。
事後授業	・ **インターンシップ科目**: プレゼンテーション、目標到達度振返り、キャリア選択についての考察

【到達目標】

・特定の課題（派遣ごとに設定されるテーマ）について講義による学問的なアプローチと実習を関連づけることができる。

・アジア太平洋の文化社会について学部での学習事項と関連づけることができる。

・テーマに沿った現地での活動に必要な知識や語学を身につけ、それを将来的に活かす道筋を見つけることができる。

・世界を変えるチェンジエージェントとしての基本的な知識・態度・スキルを身につける。

【求める学生像】

- タイに興味がある学生
- 海外での起業・インターンシップに興味がある学生
- 自ら道を切り開いていく意欲と実行力がある学生
- 将来のキャリアについて、本プログラムを通して考えたい学生
- 事前授業も含む全てのプログラムに出席し、良好な参加態度で全課題に取り組むことができる学生
- 積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲がある学生
- プログラムの趣旨・目的を理解し、新しい環境に適応しようと努力し、海外での学習に対して意欲を持ち、真摯に学習に励む学生であること

募集概要

1. 募集プログラム

2019 年度は以下のプログラムで受講生を募集します。
(詳細は、「募集プログラムとスケジュール」を参照してください。)

派遣先	タイ
受入機関	Mahidol University World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs (WAOJE) Bangkok
派遣時期	2019 年 9 月 29 日(日)～11 月 22 日(金) (2019 年度秋セメスター第 2 セッション開始前に帰国します。)

プログラム費(目安)	約 395,000 円　*詳細は P.5 を参照してください。
主なプログラム内容	プログラム前半はマヒドン大学で講義を受講し、タイの経済や日本企業との関わりを学びます。プログラム後半は日本人がタイで起業した会社でインターンシップを行い、講義で学んだことを実際のビジネスの現場で体験することができるプログラムとなっています。
国、地域に関する情報	人口: 570 万人 (2016 年) 主要産業: 観光業、卸売・小売業など
引率体制	実習開始時、フィールドワーク時、実習終了時に担当の教職員が引率を行います。 それ以外の期間については、引率はありません。
募集人数	20 名(最少催行人数 10 名)
科目名称 / 単位 / 成績について	「募集プログラムとスケジュール」を参照してください

2. 応募要件

(1) 申請時(2019 年度春セメスター)、2～5 セメスターの学生
(2) 日本語基準学生は英語中級を 2019 年度春セメスターにおいて修得しておく必要があります。2019 年度春セメスターに英語中級履修中の学生も申請可能。
(3) 英語基準学生は、日本語上級修得済み以上の日本語運用能力があることが望ましい。
(4) 申請～派遣時(2019 年度春セメスターおよび 2019 年度秋セメスター)を通して、通常在籍状態である学生。
(5) **タイのビジネスについて興味がある学生、海外で起業を考えている学生、海外でのインターンに興味があること**

3. 応募方法

オンライン応募を行い、誓約書の提出してください。

オンラインで提出された情報に不備がある場合は、選考対象となりませんので注意してください。

オンライン追加応募受付期間: 2019 / 5 / 10 (金) ～ 5/17 (金) 16:30

手続き方法	以下のオンライン応募ページから応募してください。 URL: https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/758188?lang=ja こちらのオンライン応募ページはアカデミック・オフィス Web ページからもアクセスできます。 オンライン応募ページ QR コード↑ ※この URL は応募受付期間のみ利用可能になります。
主な内容	(1) プログラムに必要な応募者に関する情報 (2) パスポートの顔写真ページ、顔写真のアップロード (3) 志望理由や将来のキャリアビジョンに関するエッセイ　など
留意事項	(1) 複数回応募手続きを行った場合は、最後に提出された応募データをもって、応募を受け付けます。 (2) いかなる理由であっても、提出後の応募内容の変更は受け付けません。ただし、応募期間内に再度、提出を行った場合は前項に準じます。 (3) パスポートや顔写真のデータは、以下ファイル名で保存したものを提出してください。 [パスポート]　Passport_氏名_学籍番号 (例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf) ※有効期限が渡航期間の定める残存期間(6 ヶ月が目安)を満たしていない場合、速やかに更新手続きを行ってください。 [顔写真]　Face photo_氏名_学籍番号 (例: Facephoto_YamadaTaro_11223344.pdf) ※正面を向き、帽子、サングラスなどは着用していない写真データを準備してください。過去 6 ヶ月以内に撮影されたものが望ましい (4) 応募にあたっては、現地でどのような学習をしたいか、将来の目標は何か、このプログラムに受講する意義は何か、これからどんな準備をするか、などをよく考えておいてください。

誓約書提出受付期間 : **2019 / 4 / 17 (水) ～ 5 / 24 (金) 16:30**

手続き方法	(1) プログラムの Web ページより誓約書をダウンロードして、各自印刷してください。 (2) 全ての必要箇所を記入し、アカデミック・オフィス内に設置されているポストに投函してください。
主な内容	(1) 遵守事項の厳守および個人情報に関する同意・誓約 (2) 応募者本人による必要情報の記入 (3) 保証人による必要情報の記入
留意時事項	以下のいずれかに該当する場合、誓約書は受理できません。 ・本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合 ・本人および保証人が同一の印鑑を使用している場合 ・本誓約書の記入欄および押印箇所の一部または全てがコピーであると判断される場合 ・友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合 ・記入欄に未記入箇所がある場合 ・押印または署名がない場合 ・その他、内容について虚偽の疑いがある場合

4. 募集ガイダンス日程

	日時	会場
第 1 回	2019 年 4 月 18 日(木) 5 限 (終了)	F108
第 2 回	2019 年 5 月 3 日(金) 6 限 (終了)	F107

5. 選考について

(1) 選考基準

志望理由書を重視した書類審査、成績等による総合的な選考を行います。場合によっては、面接も行います。

(2) 選考日程

書類選考	以下の日時に、Campus Terminal の「あなた宛の重要なお知らせ」にて書類選考の結果を発表します。 2019 年 5 月 20 日(月) or 21 日(火)
面接選考	書類選考を通過した方は、以下の日程で面接を実施する場合があります。 詳細は「あなた宛の重要なお知らせ」にて連絡しますので、必ず予定を空けておいてください。 面接に無断で欠席した場合、受講意思が無いものとみなします。 2019 年 5 月 23 日(木)～24 日(金)

(3) 最終選考結果発表

2019 年 5 月 28 日(火) 「あなた宛の重要なお知らせ」で通知

(4) 受講決定後ガイダンス

2019 年 5 月 29 日(水)3 限 合格者向け説明会(ビザなどの説明)

募集プログラムとスケジュール

1. プログラム内容

プログラム名称	THIRD(THeme-based Intercultural Relation expeDition)プログラム	
派遣先大学・機関	Mahidol Univerisity ・ 1943 年設置 ・ 国立総合大学 ・ 学生数(学部、大学院): 約 52,000 人 (学部数: 18) ・ Times Higher Education 2018 Asia University Ranking タイ 1 位 ・ 'WORLD UNIVERSITY RANKINGS 2016-2017' (Times Higher Education) 50 位 World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs (WAOJE)Bangkok WAOJE とは、海外を拠点とする日本人起業家のネットワークであり、都市を単位としながら、世界中に活動拠点があります。世界各地で、現地に根を張り、現地の方々を相手にビジネスをしている日本人起業家が、都市や国を越えてつながることで、有意義な出会いや新たなビジネスチャンスを生み出すことを目的としています。バンコク支部は 2013 年に設立され、現在約 80 社が加盟しています。	
現地実習期間	2019 年 9 月 29 日(日) ～ 同年 11 月 22 日(金) (2019 年度秋セメスター第 2 クオーターから復帰) ・ 現地大学への短期留学験＋フィールド・リサーチ(Field Capstone)+インターンシップ実習の 3 要素が揃うプログラム。 ・ 現地大学への短期留学験 2019 年 9 月 29 日(日)～10 月 17 日(木) ・ フィールド・リサーチ(Field Capstone) 2019 年 10 月 20 日(日)～10 月 25 日(金) ・ インターンシップ 2019 年 10 月 28 日(月)～11 月 20 日(水)	
内容	・ 現地大学への短期留学 タイで社会の一員として現地大学に留学体験を行うことで 経験的にも学術的にもタイの新たな側面を知る。 ・ フィールド・リサーチ(Field Capstone) 学んだことに基づいて、仮説を立て、実社会の人々にフィールド・リサーチを行う。 ・ インターンシップ 日本人がバンコクで起業した会社でのインターンシップ。人材紹介業、留学支援業、マーケティング業、外食サービス業、法務関連の中から希望する業界を選択することができます。ただし、希望の業界に配置されるとは限りません。 ・ 言語 インターンシップの際に必要になる英語力と必要最低限のタイ語を学ぶ(単位授与は無し)	
プログラムの流れ	現地実習前	**事前授業(Field Capstone・インターンシップ準備)** **合計: 2 コマ(予定)** 目標設定、自己分析、Field Capstone 準備等
	現地実習中	**現地大学への短期留学** **合計: 30 コマ(予定)** － タイの社会と文化 － 東南アジアとタイ **フィールド・リサーチ(Field Capstone)** **合計: 1 週間** － タイ国内の所定のエリアでフィールド・リサーチ － リサーチを行うエリアは現地にて直前に発表されます。 **インターンシップ実習** 英語学習(*) 合計: 約 5 コマ インターンで必要になる英語力を修得するクラスです。

		タイ語学習(*) 合計: 約 9 コマ 必要最低限のタイ語を学ぶクラスです。 (*)プログラム担当教員の選考の結果、免除となる場合もあります。
	現地実習後	Field Capstone とインターンシップに関する振り返りを現地で行う。

2. 科目・成績・担当教員について

科目について	科目名称	タイの社会と文化	特殊講義(共通教養科目)
		東南アジアとタイ	特殊講義(共通教養科目)
		Field Capstone	特殊講義(APS 専門教育科目)
		インターンシップ	インターンシップ
	科目集計分野	タイの社会と文化 東南アジアとタイ	共通教養科目
		Field Capstone	専門教育科目(APS)
		インターンシップ	共通教養科目
	開講言語	タイの社会と文化 インターンシップ	日本語
		Field Capstone 東南アジアとタイ	英語
	成績評価	タイの社会と文化 東南アジアとタイ Field Capstone	レターグレード(A+,A,B,C,F)
		インターンシップ	P/F
	単位数	各 2 単位	
	合計単位数	8 単位	
担当教員	近藤　祐一　教授		
備考	**履修登録および単位授与時期について** ・ 当該科目の単位は、2019 年度秋セメスターの履修登録上限単位数に含みます。 ・ 2019 年秋セメスター科目として大学が自動登録し、成績が付与されます。 ・ 当該科目は、2019 年度秋セメスター第 1 クオーター科目として大学が登録します。 ・ 成績は 2019 年度秋セメスター成績発表時に公開されます。 ・ 本プログラムに参加決定した場合は、2019 年度秋セメスターにおいてセメスター科目および第 1 クオーター科目を履修することはできません。		

3. 費用

費用	**[プログラムに要する費用]** **約 395,000 円** 上記プログラムに要する費用には以下を含む: Mahidol University での授業料、宿泊費、交通費(全員での移動を大学が指示するもの)、インターンシップ参加費、ビザ代行申請料金 及び 代行手数料、APU 指定海外旅行保険 及び 危機管理システム(J-TAS)
	[プログラムに要する費用に含まれないもの(別途、自己負担するもの] ・ 航空券 (80,000 円~100,000 円程度) ・ ビザ面接の為の交通費、書類取得費 等 ・ 日本国内の空港までの交通費 / 現地生活費 / 日常的な現地交通費 / 食費 ・ 予防接種費 (任意) ・ その他 上記に記載の無いもの
	[備考] ・ 上記「プログラムに要する費用」は 2019 年 4 月 10 日時点の概算(目安)。 最終金額は 2019 年 6 月上旬までに連絡します。 ・ 「プログラムに要する費用」は日本円で APU への支払いとなります。 ・ APU の学費は、プログラム費とは別途通常通りの納入が必要です。 万一プログラム参加決定後に、やむを得ず参加辞退する場合、キャンセル料の支払いが発生する可能性があります。

4. 宿泊について

・本プログラムの宿泊形態は、【アパート】と【ホテル(ドミトリー形式を含む)】なります。
大学が指定する方法以外での宿泊は認められません。
・宿泊先では、宿泊施設の指示、規則、生活習慣に従ってください。
・宿泊施設の状況やプログラムによっては、1 部屋に個人で宿泊する場合や 2 名以上で共有する場合など宿泊条件が異なります。

受講決定後の手続き

1. 経費

プログラムに要する費用

・ プログラム受講にはプログラムに要する費用を支払う必要があります。

確定時期(予定)	支払期日(予定)	支払い通貨
2019 年 6 月上旬	2019 年 6 月下旬	日本円

・ 支払期日までに支払いがされない場合、支払期日翌日をもってプログラムへの受講許可が取り消されます。その場合、「参加辞退」と同様の扱いとし、すでに発生した費用は学生本人が負担し、成績評価は F となります。
・ 支払い方法などの詳細は最終選考結果発表後に行う「受講生ガイダンス」、または Campus Terminal の「あなた宛の重要なお知らせ」を通じてお伝えします。

保険について

個人で既に加入している場合も、APU が指定する海外旅行保険、及び JCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必要です。 保険加入に関する詳細は、受講生ガイダンスで説明します。

2. 必要な手続き

移動・渡航手段

・ 航空券の予約・購入については、アカデミック・オフィスが一括で予約し、学生が支払いを行います。
・ 現地集合、現地解散は認められません。
・ 個人都合による、行程および航空券の変更はできません。

査証(ビザ)

・ タイ国の教育ビザ Non-Immigrant ED (Education Visa)の取得が必要になります。参加決定後に行われるビザ・ガイダンスにて、ビザ申請書類、パスポート(原本)等を提出していただきます。 余裕を持って、期限が有効なパスポートを準備してください。
・ビザは、国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。 万一、ビザが取得できない場合は、プログラム受講不可となり、その場合、受講不可になることによる費用(キャンセル料金等)の一切は受講生を予定していた本人の負担となります。
・【国際学生のみ】 プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限も確認してください。 在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィス(A 棟 1 階)で確認してください。

予防接種

受講生ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類、推奨レベルを案内します。予防接種は必須ではありませんので、推奨レベル等の情報に基づき、接種するかどうか各自判断してください。 接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニック(A 棟 1 階)で受診の手続きを行ってください。

免責事項・注意事項

海外実習時における注意事項

本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければならなりません。 プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任は負いません。

プログラムの中止や内容の変更および受講許可の取消

・ 受講生の健康や安全を第一優先するため、実習で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他受け入れ先大学の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、履修計画を行ってください。
・ 受講態度や出席状況、必要書類を期日までに提出しないなどの諸状況を勘案し、受講継続が不適当と判断される場合、最終選考結果発表後であっても、受講生のプログラム受講許可が取り消されることがあります。
・ 2019 年度春セメスター終了時に英語中級を修得できていない場合、合格を取り消します。

最終選考結果発表後の辞退(キャンセル)ならびに受講取消について

・ 最終選考結果発表後に 5 月 22 日(水)までキャンセル期間が設けられます。万が一、受講許可がおりた後に辞退を希望する場合は、最終選考結果発表に関する案内に定められた期日までに申し出てください。
・ APU は応募者がプログラムに応募をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。プログラム受講人数の確定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の受講生へ追加料金が課される場合があります。 従って、プログラムによって定められたキャンセル期間を過ぎての辞退は原則、認められません。
・ 応募する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。
・ 辞退にかかわって、以下の場合は、成績評価が F となります。*
-所定のキャンセル期間後に辞退せざるを得ない状況が生じ、辞退した場合
-プログラムに要する費用の支払期日までに支払いがされず、受講辞退とみなされた場合
-受講継続が不適当と判断されて、プログラム受講許可が取り消された場合
*通常通り、プログラムを完了し、成績が付与される場合も F 評価となる場合があります。

キャンセル料について

・ 受講生の事情により、プログラム開始前またはプログラム開始後に受講を辞退する場合、いかなる理由においても、辞退する学生は、その時点で既に発生した受講生にかかる費用を支払わなければなりません。 キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含みます。
・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。予めご了承ください。

履修登録における注意事項

・ 事前授業・事後授業および現地実習期間が、私用、正課の講義・補講や定期試験・追試験・履修科目登録期間、各種言語検定などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ、学年暦、自分のスケジュール、プログラムのスケジュールを確認してください。
・ 本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム最終選考結果発表後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はしませんので、自己責任において、プログラムへの応募を行ってください。
・ 既に履修科目登録が完了している 2019 年度春セメスター開講科目とプログラムのスケジュールが重複している場合も、最終選考結果発表後の履修科目登録修正期間 II において、当該科目を取り消すことができる場合は、プログラムへの応募が可能です。ただし、プログラムへの受講が決定した場合は、必ず、各自の責任において、当該科目を取り消してください。
・ 2019 年度秋セメスターは、履修科目登録が可能なクオーターとそうでないクオーターがあります。
万一、誤って履修不可の科目を登録するなどの問題が判明した場合も、履修削除等の特別配慮は行いませんので注意してください。

2019 年度秋セメスター			
ｾﾒｽﾀｰ 開講科目	第 1 ｸｵｰﾀ 開講科目	第 2 ｸｵｰﾀ 開講科目	冬ｾｯｼｮﾝ 開講科目
×	×	○	○

○: 履修登録可能
×: 履修登録不可

・ **<u>3 回生、4 回生演習科目(ゼミ)の履修について</u>**
プログラムの実施セメスターである 2019 年度秋セメスターにおいて、第 5 セメスターまたは第 6 セメスターの学生は、2019 年度秋セメスターに 3 回生演習科目を履修することはできません。既に 3 回

生演習の申請を行っている場合、プログラム参加決定後、大学が履修登録を削除する必要がありますので、申請した場合はプログラム担当者へお知らせください。

・ **英語準上級単位を未修得の場合について**
本プログラムに参加する学生が 2019 年度春セメスター終了時に英語準上級 A/B の単位が未修得の場合、2020 年度春セメスターに履修することになります。その場合、大学が履修科目登録 A 期間(2020 年 3 月)に科目登録します。

・ **2017 年度カリキュラムの APM 学生対象：第 3 セメスター目以降の必修科目の履修について**
2019 年度秋セメスターの必修科目の開講が本プログラムと重複する場合、2020 年度春セメスターに自動登録されることになります。

規律事項

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program（以下「プログラム」という。）に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

（1） プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
（2） 立命館アジア太平洋大学（以下「本学」という。）の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関（以下「派遣先」という。）の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
（3） プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
（4） 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

（1） 健康管理は、自らの責任で行うこと。
（2） 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム（J-TAS）等へ加入すること。（海外プログラムのみ）
（3） 既往症等ある場合は、申し出ること。
（4） 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
（5） 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
（6） 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。

3. 経費および補償

（1） プログラムに要する費用（実習費・宿泊費・交通費・保険料等）は、指定の期日までに納入すること。
（2） 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)を負担すること。
（3） 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.（2）と同様の費用を負担すること。
（4） 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
（5） 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
（6） 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
（7） プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。 本学、派遣先はその責任を負わない。

4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

（1） プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。

（2） プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

（3） （1）および（2）の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラム(海外交換留学、共同学位プログラム、短期サマープログラムおよび短期ウィンタープログラムを含む)においては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、出国日および帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

その他

個人情報の取扱いについて

プログラム参加手続の目的のために、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設ならびに日本、私の母国および派遣国の大使館、領事館および外務省)に対して個人情報を提供することがあります。 提供する情報には、氏名、性別、国籍、E メールアドレス、生年月日、パスポート番号、所属学部、専攻分野、大学での学修状況があります。

受講にあたっての姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、受講生自身の姿勢や努力が大きく左右します。特に海外プログラムでは異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。 各自でプログラムの受講目的をしっかり定めてください。 なお、派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。 無断欠席は認めません。 その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

スケジュール

項目	予定日時	内容
各種ガイダンス	P.3 参照	募集ガイダンス
	2019/5/29 (水) 3 限	受講者ガイダンス
	2019/6/5(水) 5 限	ビザ・ガイダンス
	2019/7/13 (土) 10:00-11:30	危機管理ガインダス
事前授業	7/24(水) 4-5 限	Field Capstone・インターンシップ準備
現地実習	2019/9/29(日)~10/17(木)	現地大学への短期留学
	2019/10/20(日)~10/25(金)	フィールド・リサーチ(Field Capstone)
	2019/10/28(月)~11/20(水)	インターンシップ +現地で事後授業を実施
	2019/11/21(木)	帰国 (11/22(金)日本着)

※最終的なスケジュールおよび教室等の詳細は、最終選考結果発表後に案内します。
※受講生は上記の全ての受講することが必須です。(募集ガイダンスを除く。)
※上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。

プログラムに関する問い合わせ先

立命館アジア太平洋大学 アカデミック・オフィス B 棟 1 階
TEL: 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
Email: atfs@apu.ac.jp
担当: 三輪、伊東、枝光